



エヌアイだより



病院の理念

私たちは、地域に根ざした消化器専門病院として、良き伝統を重んじつつ、慈愛と英知を結集し地域医療に貢献する。

基本方針

1. 私たちは、生命の尊重と人間愛とを基本とし、専門技術、知識、心を患者さんに提供するものとする。
2. 私たちは、ひとりひとりが病院の顔であるとの意識を持って、患者さんに奉仕するものとする。
3. 私たちは、ひとりひとりが常に技術知識の研鑽、向上に励み、礼節をもって患者さんに心から満足してもらうサービスを提供するものとする。
4. 私たちは、患者さんにとって良い医療を、迅速にサービスするものとする。

患者の権利と責任

1. 適切な医療を公平に受ける権利があります。
2. 病状と経過、検査や治療の内容などについて理解しやすい言葉で説明を受ける権利があります。
3. 十分な説明と情報に基づき、自らの意志で医療内容を選択する権利があります。
4. 診療上得られた個人情報保護される権利があります。
5. 患者さんは、私たちに對し自らの健康等に関する情報を正確に伝える責任があります。

医療機器管理課について

現在の医療現場では様々な医療機器が使用され、検査や治療に欠かせないものとなっています。これら医療機器の機能や性能の維持、安全に使用するためには適切な点検や正しい知識が必要となります。こうした医療機器の専門家が臨床工学技士です。医療機器管理課では、院内にある医療機器の保守点検を行っています。

臨床工学技士とは

臨床工学技士とは厚生労働大臣の免許を受けて、医師の指示の下、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業とする者と定義されています。

主な取り扱い機器

- ・輸液ポンプ ・シリンジポンプ ・人工呼吸器
- ・除細動器、AED ・生体情報モニタリング機器
- ・手術室関連機器 ・内視鏡関連機器
- ・血液浄化関連機器

感染対策

昨今、流行している新型コロナウイルスなどの対策を含め、医療現場で使用している医療機器による感染防止を常に考慮する必要があります。医療機器管理課では、こうした感染を防ぐために医療機器に対して適切な消毒、保守点検を行い、安全に運用できるように努めています。



*** 毎日の食卓に『ま・ご・わ・や・さ・し・い』***

<p>ま 豆類</p> 	<p>ご ごま (種実類)</p> 	<p>わ わかめ (海藻類)</p> 
<p>や 野菜</p> 	<p>さ 魚</p> 	<p>しいたけ (キノコ類)</p> 
<p>い 芋 (芋類)</p> 		

《 今回のテーマは、ま豆類・大豆食品 》
「畑のお肉」と言われるたんぱく質が豊富な食品。大豆・納豆・豆腐・きなこ・豆乳・味噌・醤油などがあります。

◆ 主な栄養


大豆たんぱく質	肉・魚に負けない栄養素 豆のまま食べるより、納豆・豆腐など加工すると吸収力がアップします。
大豆レシチン	肌・内臓などの細胞膜をつくる脂肪の一種。総コレステロールを低下させるといわれています。
大豆オリゴ糖	腸内細菌のエサになり腸内環境を整えてくれます。
大豆イソフラボン	腸内細菌によって、女性ホルモンと似た働きをします。

大豆にはこのような栄養があり、身体の中で様々な働きをしてくれます。これから季節、お鍋などにも大活躍する食材の一つですね。

管理栄養士：伊豫田 桂

後編集

今年には新型コロナウイルスの影響により、おうち時間が多かったです。年々の大掃除が思うように進んでいない私。困ったものです。寒さが厳しくなってきました。風邪などひかない様、お体を自愛ください。(桂)



献血サポーター

中野胃腸病院は「献血サポーター」に参加し、献血活動を応援しています。日本赤十字社より依頼がありましたら、献血会場の提供、職員に呼びかけ献血に協力させていただいています。今年度は、長年の活動を評価いただき、「金色有功章」の表彰となりました。医療技術が進歩した今日でも血液は人工的に造ることができず、長期保存もできません。近年、若者の献血も減少し安定的な供給が課題となっています。今後とも引き続き積極的に協力していきたいと思ひます。

(安全衛生委員会)



面会の案内

現在当院では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、玄関で来院されるすべての方に検温を実施しております。併せて手指の消毒、マスクの着用をお願いします。発熱がある場合には、あらかじめお電話で受診方法を確認してください。また入院患者さんには「面会制限レベル」を設け、周囲の感染状況に合わせて、面会者の制限をしております。詳細はホームページ又は直接お問い合わせください。

医師週間予定表

	月	火	水	木	金	土
深尾 院長	外来	外来	検査→外来		外来→検査	外来→検査
安藤副院長	外来	検査	外来→検査	外来	外来	外来→検査
横田 医師		外→検→外	外来	外来	外来	外→検→外
伊藤 医師		外来	健診	健診	健診	健診
中野 医師	健診	外→健→外	外(健)→検	外→健→外	健診	健→外→検
齋藤 医師	外来	外来	外来	検査→外来	検査	外来
前田 医師	検査	外来	外来	外来→検査	外来	検査→外来
神谷(剛) 医師	外来→検査	外来→検査	検査	外来	外来	外来
加藤 医師	外来	外来	外来	外来→検査	検査	外来→検査
舟曳 医師		外来→検査	外来			
榊原 医師				検査→外来		

マロリー・ワイス症候群 と特発性食道破裂

医師：神谷 賢吾

激しく嘔吐してしまった時などに出血を生じることがあります。このような時にはマロリー・ワイス症候群や特発性食道破裂という疾患が起きている可能性があります。

❖ どんな病気か

マロリー・ワイス症候群 (Mallory-Weiss 症候群) とは、嘔吐などにより腹圧、胃食道内圧が急激に上がることで、食道と胃の境目の表面が縦に裂けて出血してしまう疾患です。この裂傷は粘膜下層までに生じ、粘膜下の動脈から出血します。通常は胸痛や腹痛を伴いません。

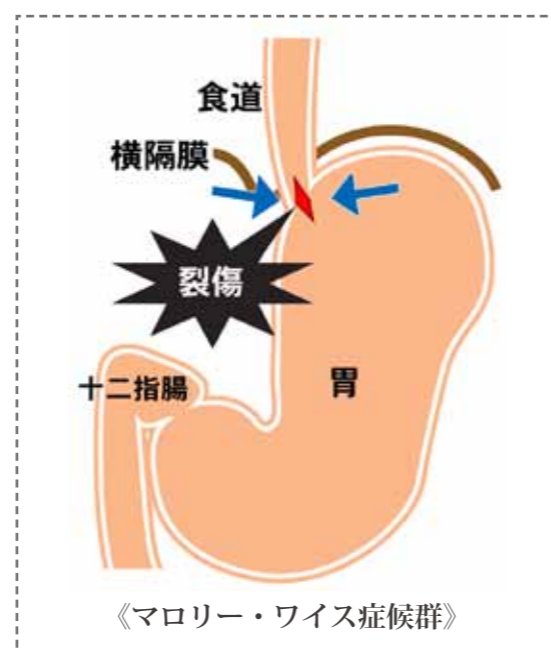


《マロリー・ワイス症候群内視鏡写真》

特発性食道破裂は Boerhaave 症候群とも呼ばれ、やはり食道内圧が上昇したときに、食道が壁の外側までの全層で裂けて穴が開いてしまう疾患です。穴が開いた部分から細菌感染が広がり命に関わります。通常は強い痛みを伴います。

❖ 原因

マロリー・ワイス症候群や特発性食道破裂は、繰り返しかかる腹圧によって食道と胃の境目の壁が何度も勢いよく広げられ、粘膜面が縦方向に裂けることで起こります。アルコールを飲んだ後に嘔吐を繰り返すことが原因となることが多いといわれていますが、それ以外に、しゃっくり、くしゃみ、咳、喘息発作、腹部打撲、排便や出産時のいきみなどが原因となる場合があります。



❖ 症状

マロリー・ワイス症候群では、繰り返す嘔吐後に吐血、下血、心窩部痛、立ちくらみなどを起こします。特発性食道破裂では嘔吐反射直後、突然バットで殴られたような胸痛や腹痛、背部痛などの強い痛みが起こります。破裂後時間がたつとショック症状など重篤な状態になってしまいます。

❖ どのような方に多いか

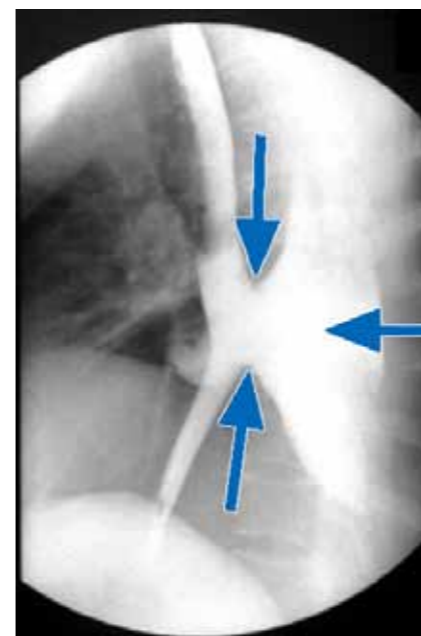
マロリー・ワイス症候群の好発年齢は 30 ~ 50 歳、約 90% が男性です。飲酒後の嘔吐での発生が 30 ~ 50% を占めます。萎縮性胃炎がある場

合は粘膜の伸びに弱くなり発症しやすくなり、胃の入り口が広がりやすくなる食道裂孔ヘルニアがあると胃の内圧が上がりにくいことで発症しにくくなるともいわれています。特発性食道破裂の好発年齢も 30 ~ 50 歳の男性とされ、やはり飲酒後の嘔吐で発生することが 50 ~ 80% と多くを占めます。

❖ 診断

嘔吐に続き起こる吐下血など、急な腹圧上昇を来す状況の有無を確認することである程度診断することができます。上部消化管内視鏡で粘膜裂創の有無とそこからの活動性出血を確認することで確定診断できます。マロリー・ワイス症候群の場合は裂創の深さは 65% が粘膜下層までにとどまり、筋層まで達するのは 30% 程度です。

特発性食道破裂が疑われた場合は、レントゲンや CT での食道の外側への空気の漏れ (気腫) や胸水を認めたり、食道造影で造影剤が食道の外に漏れる所見を認めれば、食道破裂と診断されます。内視鏡検査では破裂部位を直接確認できますが、破裂部をさらに悪化させる可能性もあり注意が必要です。



《食道造影での造影剤漏れ》

❖ 治療

マロリー・ワイス症候群では内視鏡検査時に止血している場合は特に処置は必要としません。出血がみられる場合は内視鏡的に止血します。裂創が深い場合は入院の上で絶食・輸液、酸分泌抑制薬投与などを行い治療します。ほとんどの場合、自然止血がみられ、その後再発することは、あまりありません。特発性食道破裂の場合は、緊急手術での破裂部の縫合閉鎖、ドレナージ術 (ドレーンチューブを留置し、たまった滲出液・膿・血液などを排出すること) が必要になります。早期に治療を行った方が救命率は高くなります。



《内視鏡的止血写真》

❖ 予後

マロリー・ワイス症候群では、多量の出血が出ない限り基本的に良好です。

食道破裂の場合、昔は死亡率 40% 台と予後不良な疾患でしたが、医療技術の進歩により現在では 10% 前後まで低下していますが、致命的となる可能性がある重篤な病気であり、早期診断・早期治療が特に重要です。

❖ 最後に

嘔吐した時に出血した場合や嘔吐後に強い胸痛や腹痛を認めた場合には、マロリー・ワイス症候群や特発性食道破裂の可能性もありますので、消化器専門の病院を早めに受診してください。また適切な量の飲酒を心がけて、嘔吐するまで飲酒することは避けましょう。